

# グローバル・バランス型特別勘定 運用状況 (2010年1月末現在)

## 運用方針

- 主に世界各国の株式および公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 基本資産配分は国内外株式50%、国内外公社債50%とします。
- 基本的に為替ヘッジは行いません。ただし、市況動向等を勘案して、為替ヘッジを行うことがあります。
- MSCI WORLDインデックス50%、シティグループ世界国債インデックス50%で加重平均した複合指数を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

## 資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	14,150,712	99.1%
現預金・その他	126,131	0.9%
合計	14,276,843	100.0%

## 運用状況

2010年1月のグローバル株式市場は、MSCI KOKUSAI (現地通貨ベース)で3.90%の下落、グローバル債券市場は、Citigroup WGBI (現地通貨ベース)で0.61%の上昇となりました。米国のオバマ大統領が新たな金融規制案を発表すると、経済成長を抑制するとの懸念が広がるなどして、株式市場は下落、債券の利回りは低下(価格は上昇)しました。このような市場環境の中、円高ドル安の進行もあり、当特別勘定は4.70%下落しました。

1月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

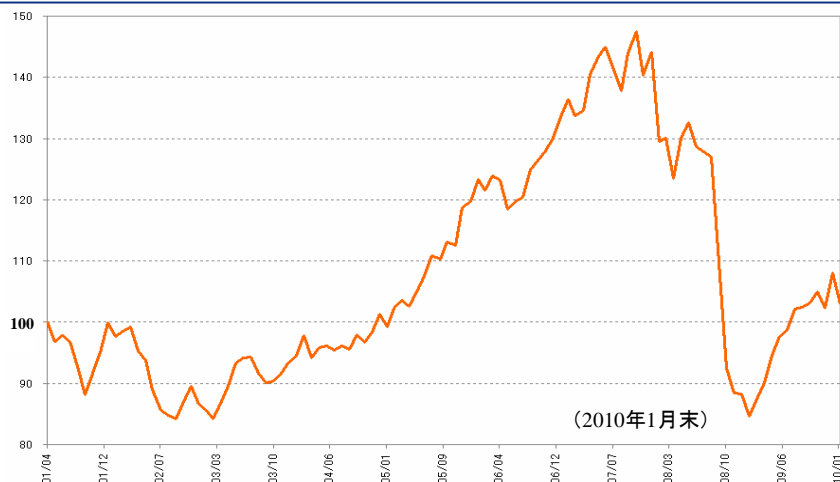
2月についても、内外株式部分については「RIC II World Equity Fund」および「グローバル成長株ファンド」を、内外公社債部分については「RIC Global Bond Fund」および「グローバル・ボンド・ファンドVA」を継続して保有する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

## ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
103.03425141	▲4.70%	▲1.89%	+0.88%	+21.75%	▲24.46%	+3.83%	+3.03%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

## ユニット・プライスの推移(運用開始日:2001年5月1日)



## ポートフォリオの状況

### [基本配分]

国内外株式 50%
国内外公社債 50%

### [組入れ投資信託(投資比率)]

RIC II World Equity Fund (22.3%) : p21 下段
グローバル成長株ファンド (27.6%) : p22 上段
RIC Global Bond Fund (21.1%) : p22 下段
グローバル・ボンド・ファンドVA (28.0%) : p23 上段
現預金・その他 (0.9%)

(注)「p21 下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

## ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。